

vol. **116**

2019 September

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

# GERESPO NEWS



2019

## 世界ボートジュニア 選手権大会

in 海の森水上競技場

「企業運動会の効果に関する調査」結果報告

# REPORT

## 交差する想いを 1つ1つ形にしてい

今回のイベントでは、施設会場コーディネーターとしてお手伝いさせていただきました。1年ほど前に、このお仕事のご相談をいただいたのですが、これほど大規模なボートの大会をお手伝いさせていただくのは、僕としてもセレスポとしても初めてでしたので、選手の体重やボートの重さを計測する諸室の配置や行動動線なども最初は手探り状態。視察に行った2018年にチェコで行われた世界ボートジュニア選手権大会を参考に、色々のご提案させていただきました。また、海の森水上競技場は2019年6月にオープンしたばかりの施設で、まだレギュレーションがはっきりと定まっていない部分もありましたし、東京オリンピック・パラリンピックのテストイベントも兼ねた大会ということで、海外の方を含めた多くの担当者の方々とやりとりをする機会がありました。色々な想いや考えが交差する中で、最善の方法を考えながら、主催者さまの想いを少しずつ形にしていきました。

僕自身が過去にスポーツをやっており、スポーツに携わる仕事をしたいと思ったことが、この仕事を始めたきっかけ。選手や主催者、関係者や観客のみなさんが笑顔で楽しんでもらうことがイベントの仕事の醍醐味。またいつか、海の森水上競技場でボートの世界選手権を開催できるようにこれからもサポートさせていただきたいと思っています。



**渡邊 和昌** わたなべ かずまさ  
株式会社セレスポ  
スポーツ事業推進室



### 世界ボートジュニア選手権大会とは？

50以上の国と地域の若き代表選手が一堂に会し、U-19 (18歳以下) の世界チャンピオンチームを決めるビッグイベント。直線2,000mの距離を艇の先端がゴールラインに達した順位で争う男女14種目のレースが5日間にわたって開催されました。



### INTERVIEW

**木村 新さん**

公益社団法人  
日本ボート協会 理事長



### EVENT DATA

**2019世界ボートジュニア選手権大会**  
2019年8月7日～11日  
【開催地】海の森水上競技場(東京都江東区)  
【主催】国際ボート連盟(FISA)

# 2019 世界ボートジュニア 選手権大会 in 海の森水上競技場

国際ボート連盟(FISA)が主催するジュニア世代最高峰の国際大会が開催され、世界各国の選手が白熱した戦いを繰り広げました。今回は、公益社団法人日本ボート協会の木村さんに、本大会についてお話を伺いました。

「大会の位置づけや想いを教えてください。」

この大会は来年の東京オリンピック・パラリンピックのテストイベントとして開催されました。規模がオリンピックと同じくらいということ、オリンピックの前年に世界ジュニアをテストイベントとして行うことがFISAにより決まっております。2年前、アメリカ・サラソタでの世界選手権終了後にFISA総会があり、そこでFISAとPARAの調印式があり、今日を迎えました。この2年間、主管団体として資金調達から大会運営など全て準備してきましたので、非常に大変な中、関係者全員の頑張りを強く感じています。

日本で開催されるFISA主催の国際大会は2005年に岐阜で行われた世界選手権以来です。日本には国際基準に適合したボートコースがあまりないので、開催することもできませんでしたが、海の森水上競技場という国際基準のボートコースができたことで、国際大会を開催できるようになりました。私達はボート競技のプロとしての自信があり、設備や運営のプロであるセレスポさんの協力もあって、オリンピックに向けていい大会になっていると思います。海の森水上競技場の印象はど

うですか？

FISA関係者や選手からは「非常に素晴らしい」と言われています。選手は漕ぎやすいと言っていますし、FISAからは大会運営についてお褒めの言葉をいただいております。レース運営としてはバーフェクトな状態ですが課題もあります。1つはアクセス。今回は最寄駅から会場までをシャトルバスで輸送していますが、将来的には公共交通機関によるアクセスを要望していきたい。距離の問題は移動だけでなく大会の雰囲気を作っていく上でも課題になります。それから観客の暑さ対策。選手・スタッフの暑さ対策はいろいろと考えてきましたが、観客については十分ではないので、非常に暑い中で観戦いただくことになりました。来年に向けてその辺を考えないといけないと思っています。

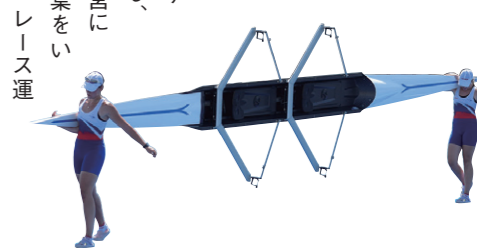
「国際大会ということもありますが、観客も海外の方が多いと感じました。」

ボート競技はどの国で、どんな不便な場所で開催しても大勢の方が来てくれます。それくらい熱烈的ファンがいる競技です。リオオリンピックも決して便利

ですね。

「ボート競技の今後についてメッセージを。」

ボート競技はヨーロッパ発祥のスポーツで歴史もあります。150年以上も続くThe Boat Raceというオックスフォード大学とケンブリッジ大学の対抗レースは有名ですが、200年以上続いている大会もあり、非常に人気のあるスポーツで、生活文化の中にとりこめられて根付いています。日本でも普及という観点で特に子供たちが楽しめるような場を作っていきたい。国内にはボートを漕げる場所が60近くありますがボート競技単体で考えるのではなく、その地域との関係性の中で普及することにより、地域が活性化します。そのためにも、ひきつづき地域の状況を把握している都道府県ボート協会と協力して取り組んでいきます。

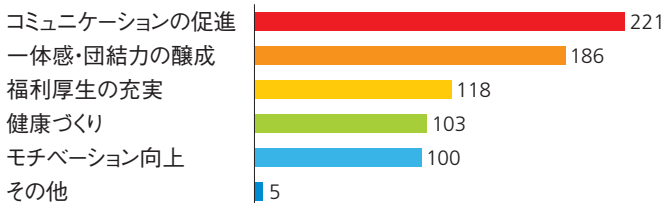




# 「企業運動会の効果に関する調査」結果報告

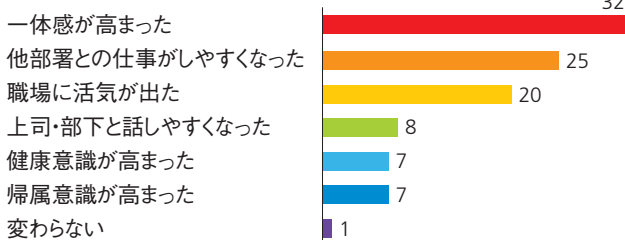
セレスポは、企業運動会の担当者を対象とした「企業運動会の効果に関する調査」を行い、2019年7月23日にニュースリリースを発表しました。

## 運動会開催の目的



47社が回答。各項目5点満点で目的への優先度合いを評価(235点満点)

## 運動会開催後の変化



## 調査概要

- 調査名  
企業運動会の効果に関する調査
- 調査対象  
企業運動会の担当者
- 調査期間  
2018年4月～2019年3月
- 調査方法  
開催終了後にアンケート実施



半数以上の企業さまより、他部門との仕事がやりやすくなったとご回答をいただき、企業運動会の開催は、当日のコミュニケーション効果をもたらすだけでなく、開催後も社内の風通しや活気が持続すると考えられ、運動会を通じて一体感が高まり、職場環境の改善に効果があることが判明しました。



セレスポも2018年2月に創立40周年を記念し全社員を対象に「運動会だよ！全員集合」を開催しました！

## 編集後記

開催が決まった時は「まだ先のことだ」と思っていたゴールデンスポーツイヤーズに突入し、あっという間にラグビーワールドカップ2019が開幕しようとしています。日に日にその単語を耳にする機会も多くなってきたように感じられます。

来年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてのテストイベントも各地で開催されており、今回特集した2019世界ポートジュニア選手権大会も、新たに整備された海の森水上競技場で開催され、多くの国の方々が賑わっている様子を見て、来年のその瞬間に向けて着実に進んでいることを感じさせられました。今からどんな大会になるのかとても楽しみです。



[発行日] 2019年9月25日  
 [発行元] 株式会社セレスポ  
 〒170-0004  
 東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)  
 TEL/03-5974-1111  
<http://www.cerespo.co.jp/>

[デザイン] META+MANIERA

CERESPO NEWSに関するお問い合わせは株式会社セレスポ コーポレートデザイン室 (cd@cerespo.co.jp)まで

Facebookはこちら! ▶▶▶▶

